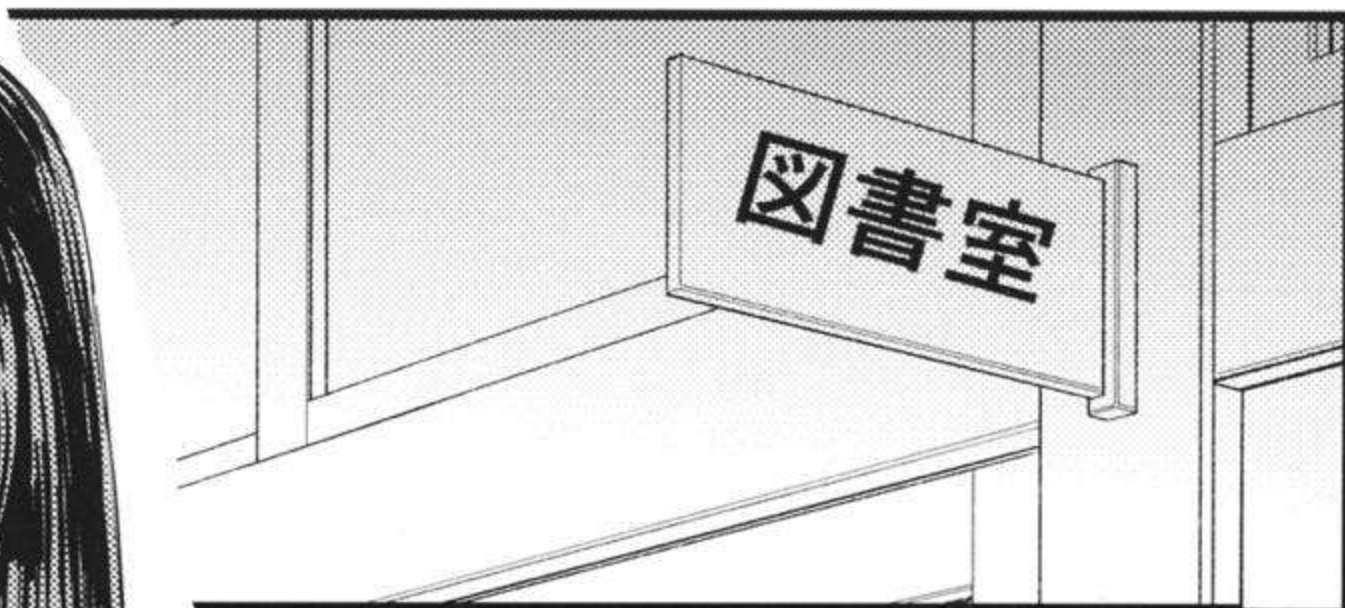
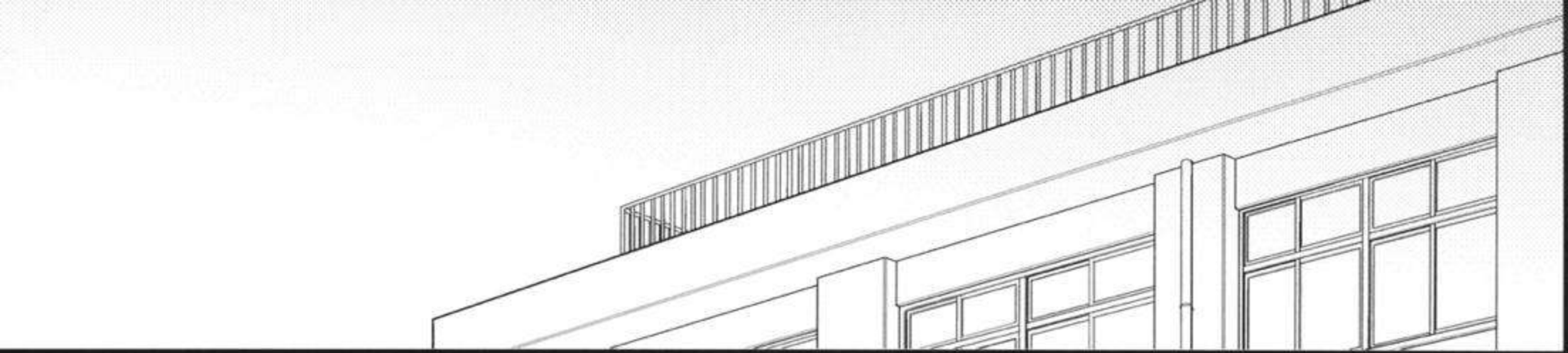


世界の果てで
愛しているなんて
言えない

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



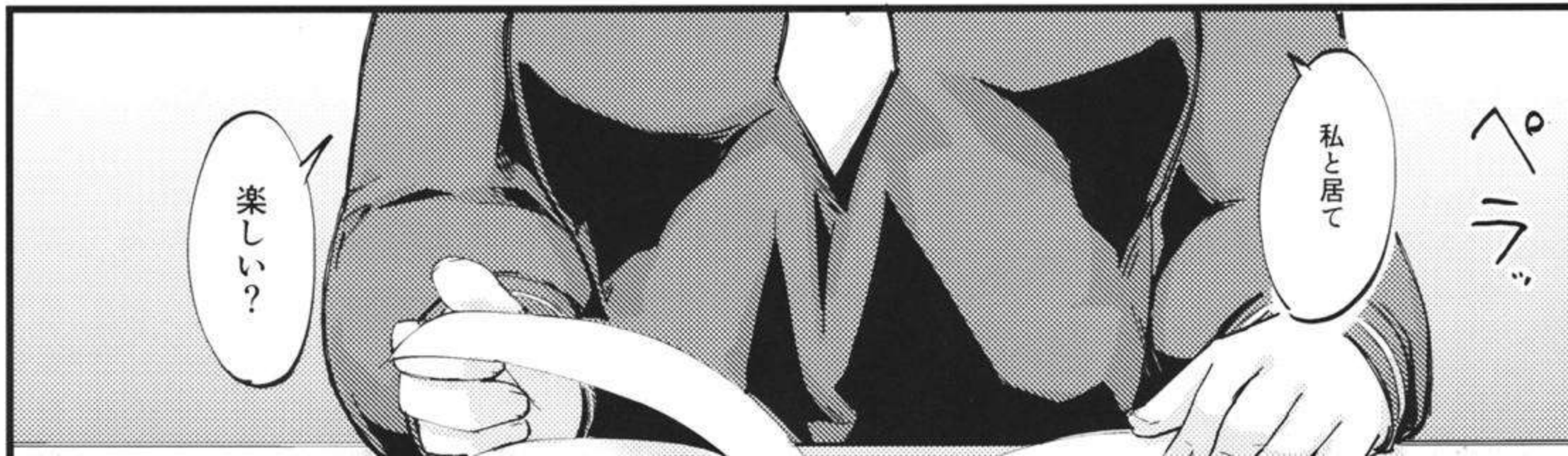


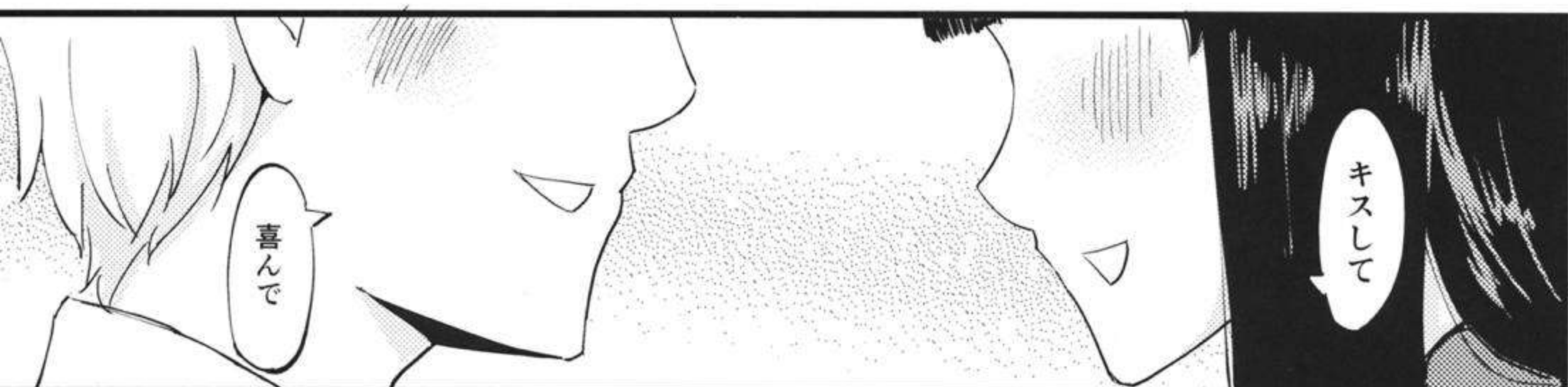


世界で愛している
果てなんて言えない





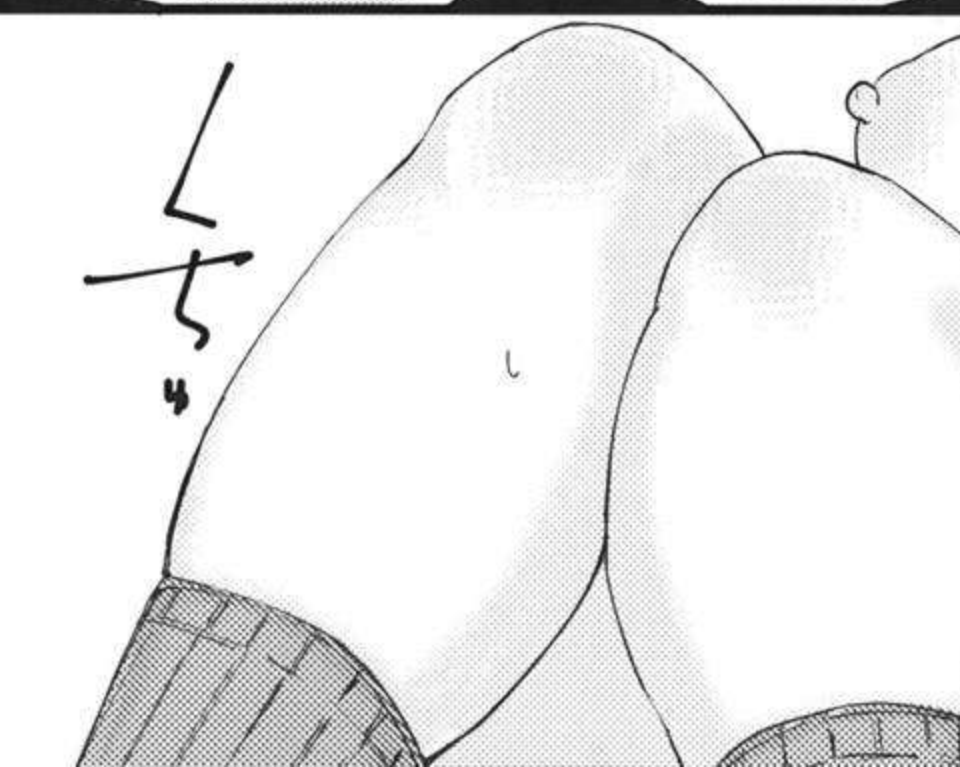
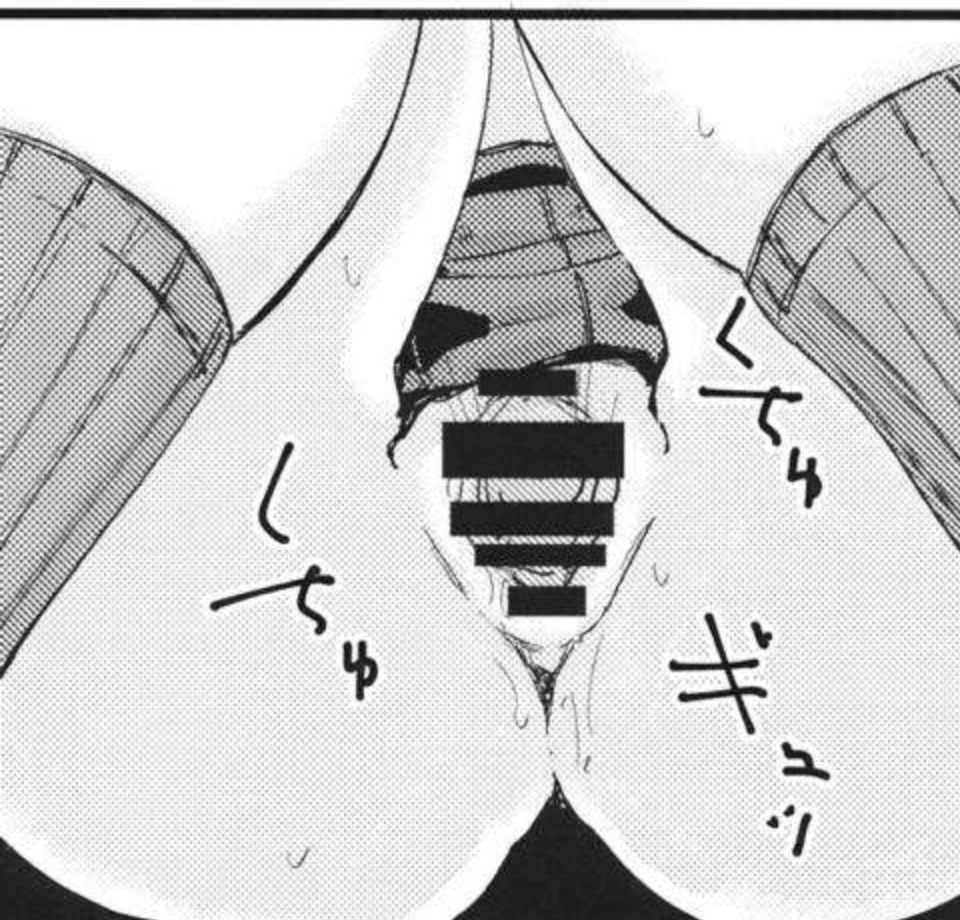
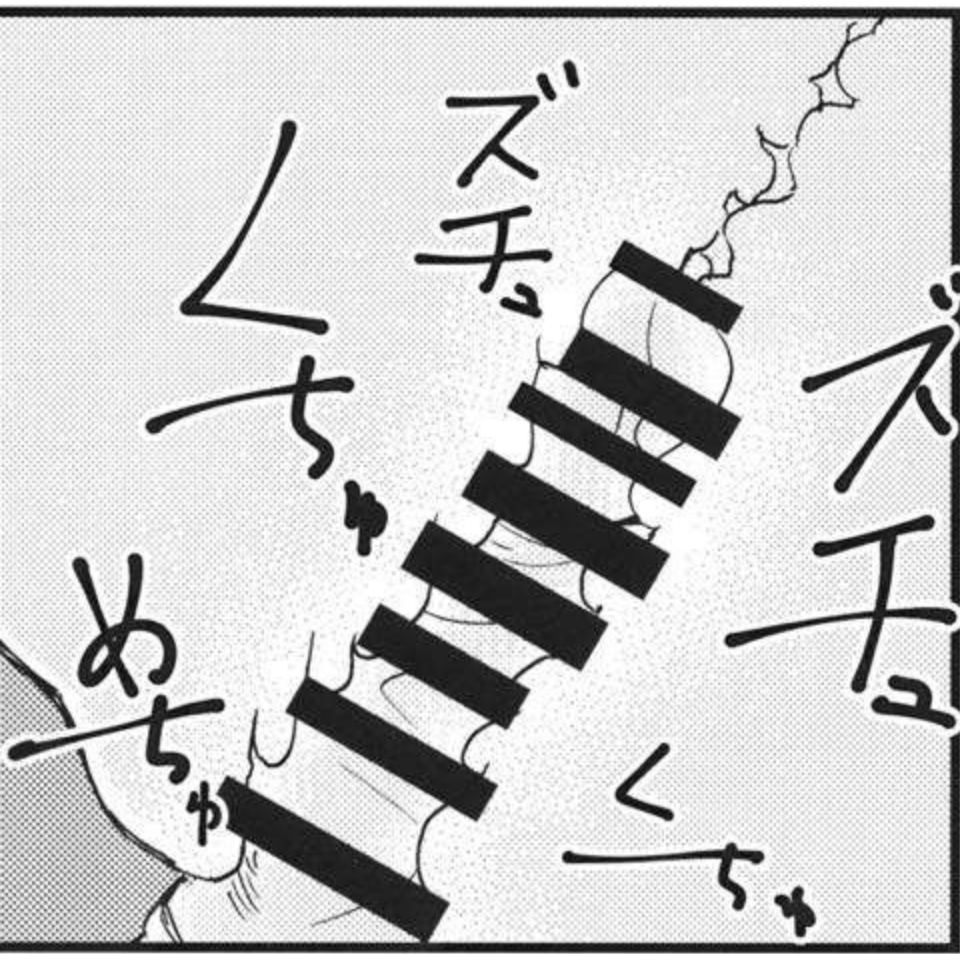
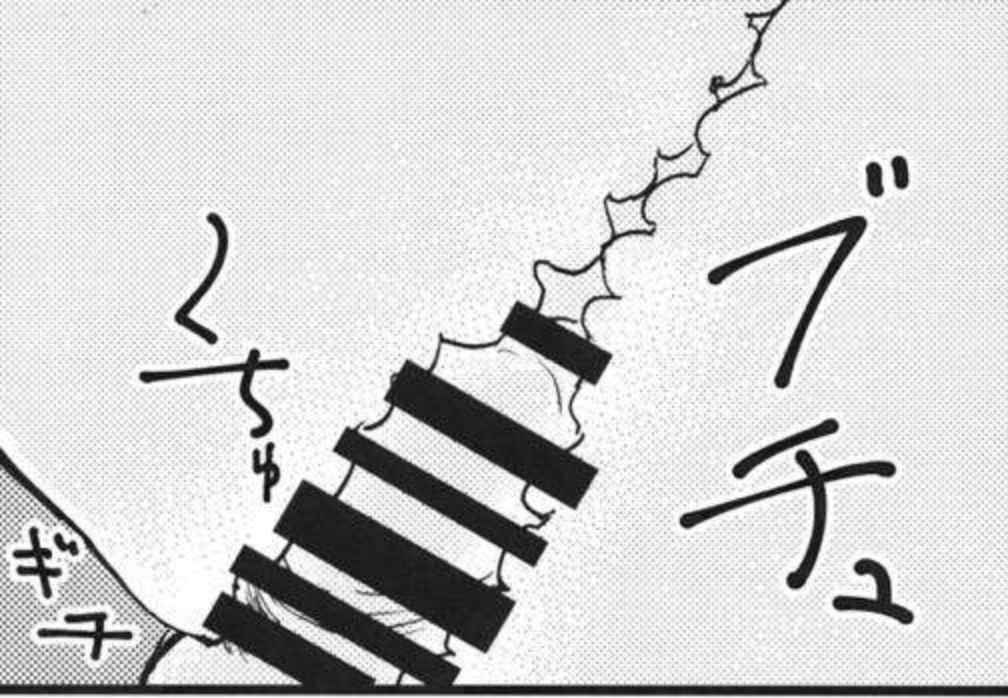


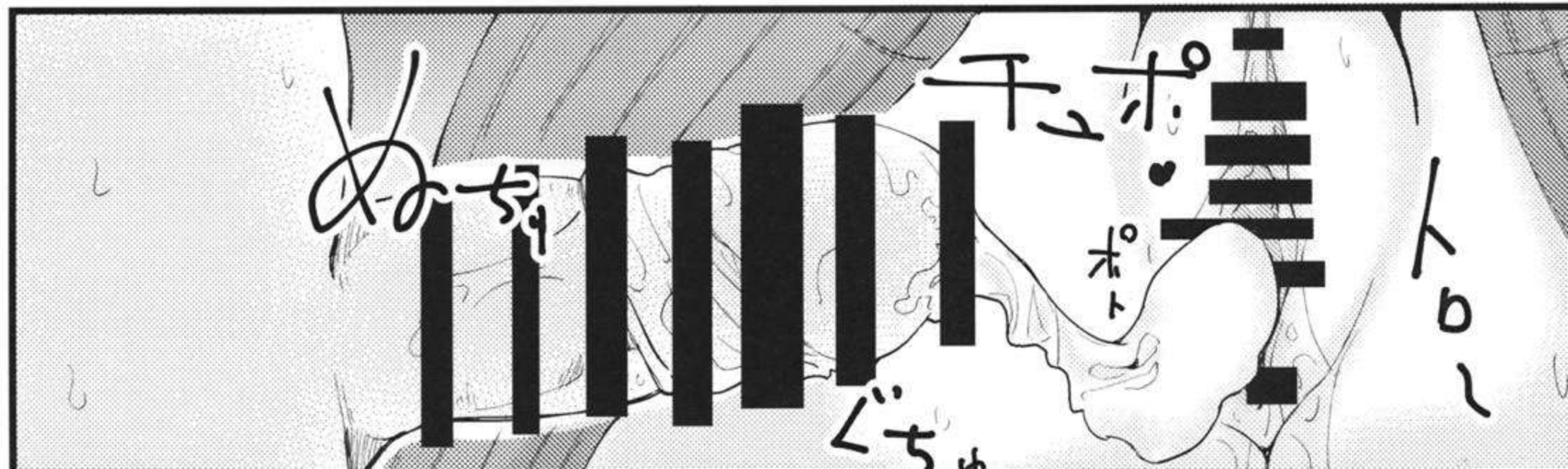






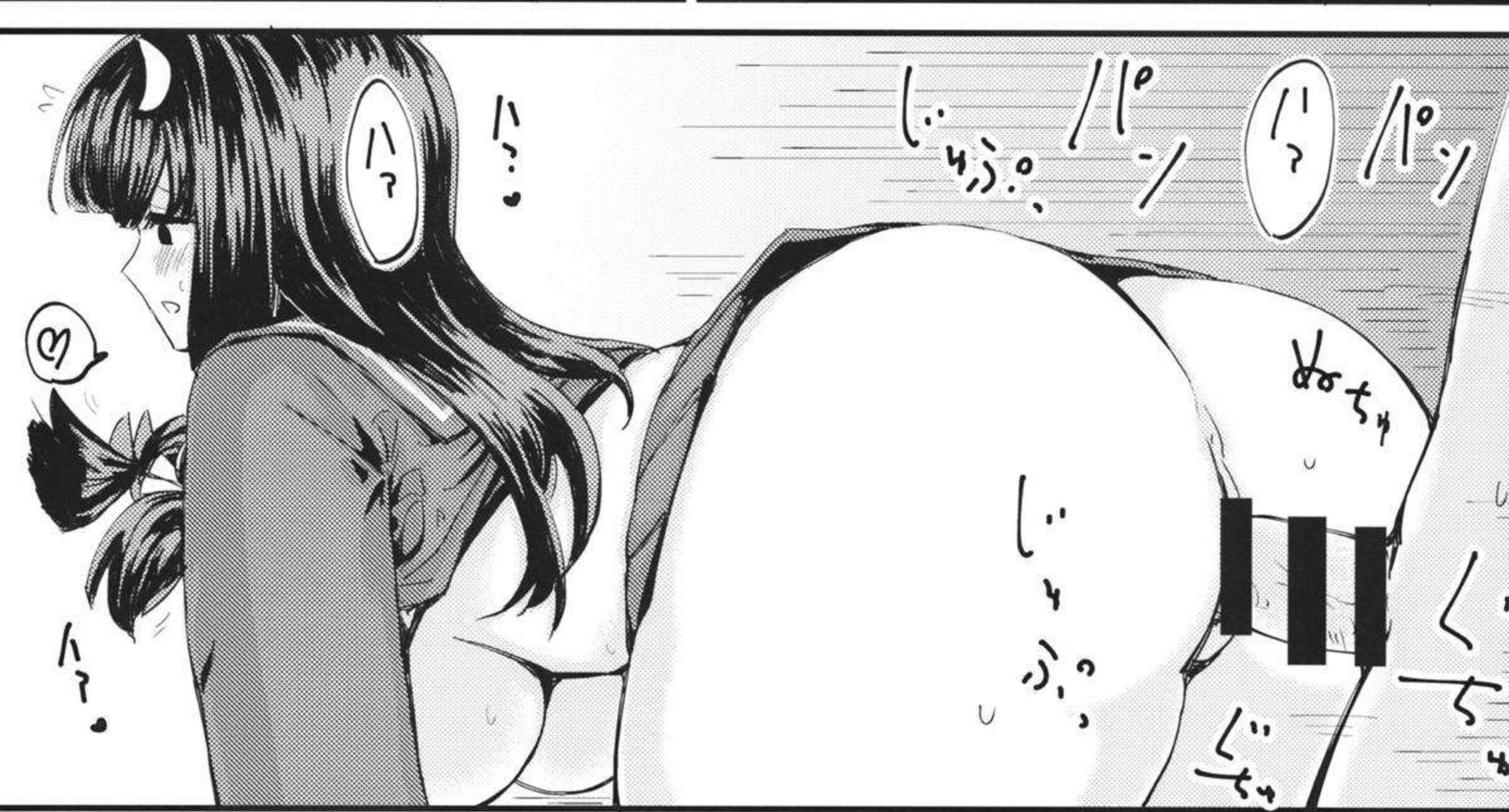










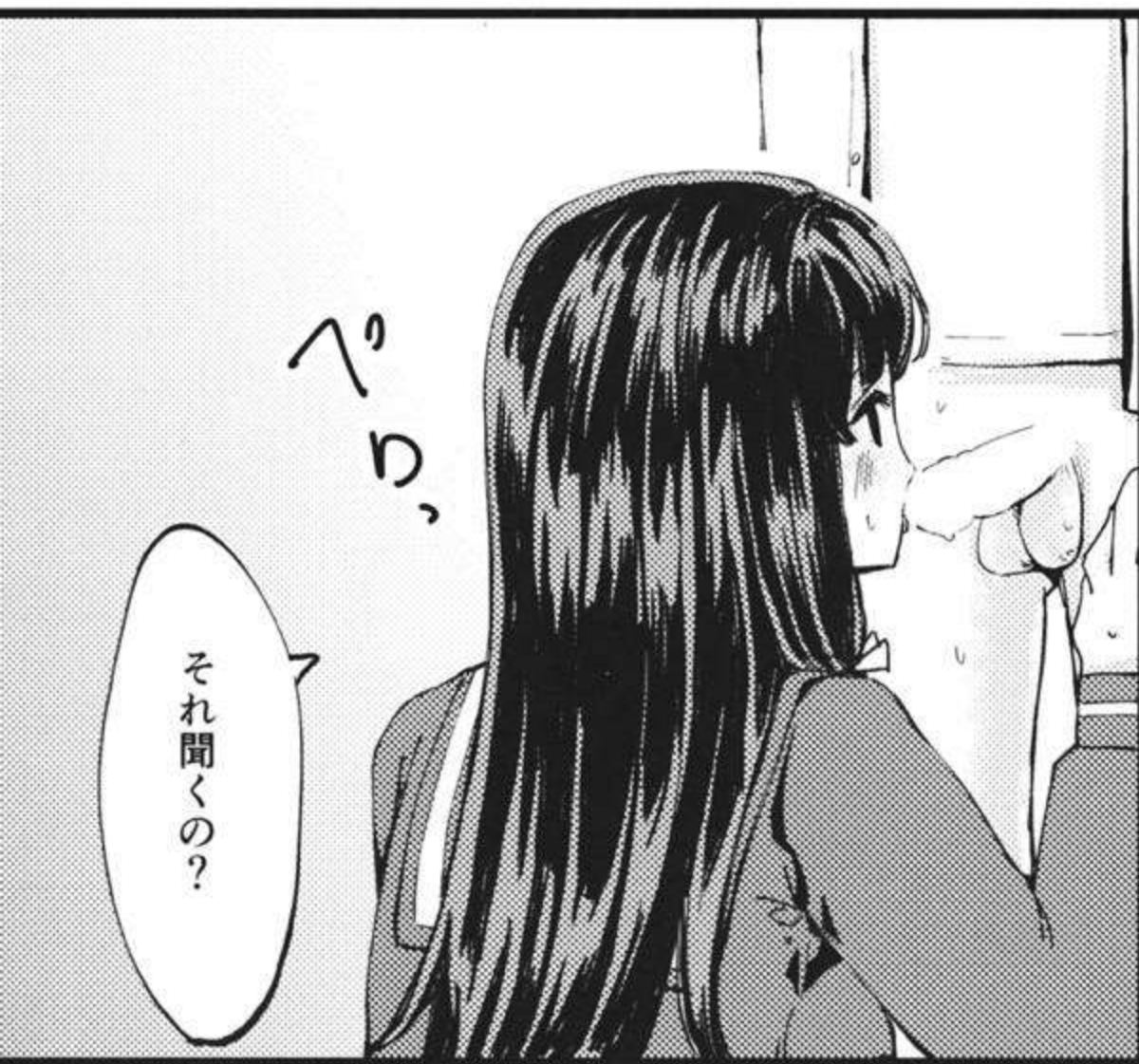






さっき読んでいた
この本

結局
感想は？



それ聞くの？



それで結末は？



主人公は
最後
狂って死ぬ

エグッ

そう

エグい



ひとつの
思いなんて

時間がすべて
塗りつぶしちゃう

キョッ



けど



それでも

私は
また会えて
よかったと思う



主人公は
自分で望んで生き続けて
好きな人が
帰ってくるのを待つ

けど
いつの間にか

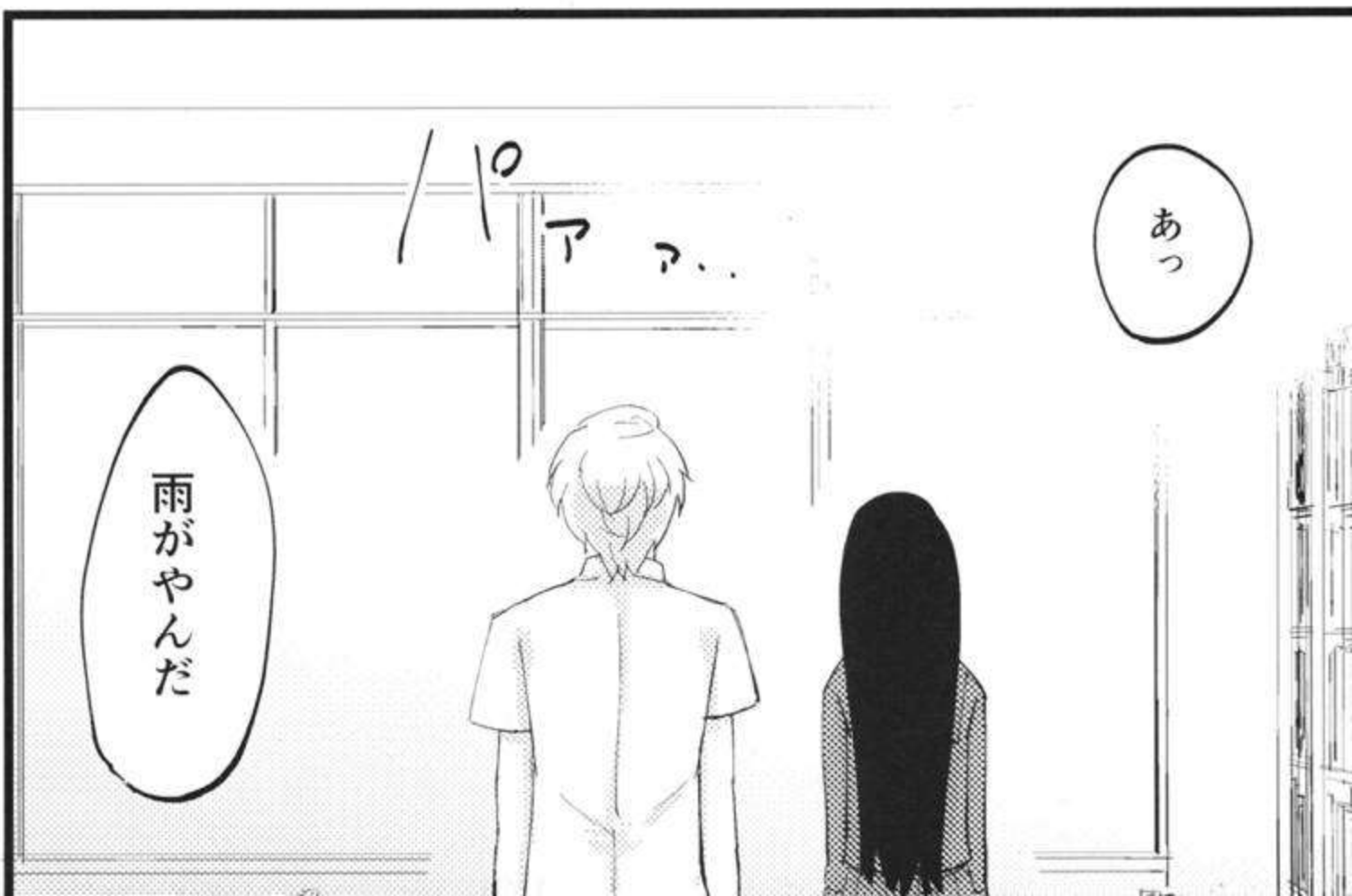
何で生きているか
わからなくなる

キョッ



夕日が綺麗だから
屋上に見に行こう

キョッ



雨がやんだ

あっ



おい

パチユリー



また

明日な!



また

明日

あとがき

お手に取って頂きありがとうございます。amidaraです。

今回の本は学園ものに見せかけたキャラクター死後本です。宇宙が何度も始まって終わった世界です。この世界観のイメージには2つの漫画が元になっているのですが、どちらも最後のネタバレなので紹介できません。6部神父とファイアとだけ書いておきます。

この本は読み方によっては結構面白い本になったかなと思っています。考察はあれなのでネタバレらしをすると竿役の男の子は鞠芹正樹(mariseri masaki)ローマ字を並び替えれば霧雨魔理沙になるはずですが、その前にピアスでなんとなく分かる気はします。なのでマリパチュ本を想定しています。もしかしたら、魔理沙ではないかもしれない所がこの本の面白いところでもあると思います。好きに読んでください。

本作は気が遠くなるほど時間がたった世界で蓬莱人しか残っていません。パチュリーも無理をして残ったせいで変質化しています。黒髪化もそのひとつです。そうして会った魔理沙の魂を宿しているかもしれないもの、この後、パチュリーがどうなるかは分かりません。ただ、会えた瞬間だけ後悔がない彼女であることは違いありません。

それでは、またどこかで。

奥付

世界の果てで愛しているなんて言えない

発行日
2018年10月21日 紅樓夢14

発行者
サークル 幻想影燈籠
amidara

印刷
(有)ねこのしっぽ

連絡先
helloendeba@infoseek.jp

世界の果てで
愛しているなんて
言えない

DOJIN
R18
成人向け
※18歳未満の閲覧
購入・閲覧禁止

幻想影燈籠



幻想影燈籠